



第 207 回 令和 6 年 2 月 1 日
伊豆歩俱樂部会報

♪伊豆歩の歌♪ 詠み人知らず

歩歩歩（ふふふ）の歩（ふ）
緩歩で観歩
歩歩歩（ほほほ）の歩（ほ）
歩歩笑美（ほほえみ）伊豆歩は
歓歩で完歩

■第 2 5 6 回 伊豆歩俱樂部 2 月例会

伊豆早春フラワーウォーキング
第 26 回 河津桜ウォーク

・日本市民スポーツ連盟認定大会

- 【主催】 伊豆歩俱樂部
【後援】 (一社) 日本ウォーキング協会、 静岡県ウォーキング協会
朝日新聞静岡総局

来宮神社の大楠は最大周囲 14m、高さ 24m、樹齢 1,000 年以上と推定されている巨木を廻り、河津川沿いの 800 本余りの河津桜並木通りから伊豆の踊子文学碑（「伊豆の踊子」の“私”が泊った宿「福田家」）、整備された佐ヶ野溪谷遊歩道、河津桜原木（樹齢約 60 年）、白砂の今井浜海岸を廻る変化に富んだ楽しいコースです。



- 【開催月日】 令和 6 年 2 月 18 日（日）
雨天決行
- 【集合時間】 9 時 00 分（当日現地受付）
- 【出発式・スタート】 9 時 15 分 ・スタート 9 時 30 分
- 【集合場所】 須佐乃男神社境内（浜区公民館裏）
*伊豆急河津駅から海に向かって徒歩 3 分
- 【参加費】 伊豆歩俱樂部会員 無料
一般参加者 500 円（保険代、マップ代等）
- 【交通機関】 JR 伊東駅発 7 時 51 分 伊豆急河津駅着 8 時 38 分
伊豆急下田駅発 8 時 23 分 伊豆急河津駅着 8 時 37 分
*各自確認をお願いします。
- 【コース】 17・12Km 団体歩行
・17Km 須佐乃男神社⇒⇒来宮神社⇒⇒河津桜並木（河津川左岸）⇒⇒伊豆の踊子文学碑「福田家」⇒⇒下佐ヶ野公園（昼食）⇒⇒佐ヶ野溪谷遊歩道⇒⇒河津桜並木（河津川右岸）⇒⇒河津桜原木⇒⇒今井浜海岸⇒⇒須佐乃男神社（ゴール予定 15 時 30 分）

【備考】

・12Km 河津桜原木⇒⇒須佐乃男神社（ゴール予定 14 時 30 分）

・駐車場は各自で見つけて下さい。

・会場には荷物の受付保管場所がありません、伊豆急河津駅のコインロッカーを利用して下さい。

・会場にはトイレがありません、伊豆急河津駅を利用して下さい。

・弁当、飲料水、雨具等は各自持参して下さい。

【問合せ先】 〒415-0038 静岡県下田市大賀茂 301

伊豆歩倶楽部事務局（笹本）

TEL・FAX 0558-22-5465 携帯電話 090-2140-1717

■第257回 伊豆歩倶楽部 3月例会

富士山の展望と達磨山を歩く

12Km

伊豆山稜線歩道は、「伊豆の踊子」で有名な「天城峠」から伊豆市修善寺「虹の郷」まで結ぶ変化に富んだ自然歩道で、天城峠から二本杉峠、三蓋山、つげ峠、猫越岳、仁科峠、土肥峠、伽藍山、達磨山、戸田峠、金冠山、だるま山高原レストハウス、虹の郷までの約 42 km のロングトレイルとなっています。

天城峠から仁科峠付近までは、ブナ林やアセビなど目立つ樹林帯で、仁科峠から金冠山までは富士山や海を望む好展望ルートです。

今回のコースは、富士山、駿河湾の眺望を楽しむコースで、船原峠を出発し伽藍山、古稀山、達磨山、戸田峠、金冠山など経由してだるま山高原レストハウスがゴールとなります。



【開催月日】 令和6年3月17日（日）

【集合時間】 9時30分

【出発式・スタート】 9時35分 ・スタート 9時45分

【集合場所】 船原峠駐車場（無料）

【参加費】 伊豆歩倶楽部会員 無料 一般参加者 500円（保険代、マップ代等）

【交通手段】 場所と時間的に公共交通機関が使えないため、自家用車(同乗者を含む)利用者のみとします。

【コース】 12Km 団体歩行

船原峠⇒⇒伽藍山⇒⇒古稀山⇒⇒達磨山（昼食）⇒⇒戸田峠⇒⇒金冠山⇒⇒だるま山高原レストハウス（ゴール予定 15 時）

【注意事項】 公共交通機関を利用できないので、事前にゴールだるま山高原レストハウス駐車場に2～3台車(事前をお願いしてきます。)を置いて、ゴール後、乗り合わせて出発地の船原峠駐車場に戻ります。ご協力をお願いします。

【問合せ先】 〒415-0038 静岡県下田市大賀茂 301
伊豆歩俱樂部事務局 (笹 本)
TEL・FAX 0558-22-5465 携帯電話 090-2140-1717

第254回 伊豆歩俱樂部 12月例会

紅葉の天城・伊豆の踊子ウオーク

伊豆歩俱樂部 会員 No. 1904 三島 元子

南伊豆に住み始めて7年、天城・踊子・隧道・七滝等と見聞きするたびに何時かは歩いてみたいと思いつつ……念願叶い12月10日「紅葉の天城・伊豆の踊子ウオーク」に参加、とは言え川端康成「伊豆の踊子」は読んだという記憶はあるものの内容はしっかりと忘れ、松本清張「天城越え」は読んだかさえも定かではありません。



水生地から歩き始めると今にも朽ち果てそうな氷室、旧天城トンネルを目にすると、その昔、旅芸人達も歩いたであろう石畳、七滝の階段にうんざりしながら、当時は階段では無く急坂だったのだろうか? だとしたら相当に難儀したことだろうなと思いを馳せ長い長い歴史を感じながら歩く。

紅葉のピークは過ぎているだろうと思っていましたがそんなこと無く想像以上のすばらしさ、晴天とともに会員

の皆様の強運を感じながら七滝温泉にゴール、令和5年の締めくくりにあつた一日でした。

新年歩き初めの下田水仙ツーデーマーチウォーク

伊豆歩倶楽部会員番号 No. 1903 丸田 耕作

1月の第1土日に開催される下田水仙ツーデーマーチを歩き初めにしないと1年が始まりません。今年も二日間20kmコースを歩いてきました。

1日目。天気は晴れ、陽がさして暖かいのですが、海に近いところでは風が強くて寒かったです。開会式は定刻に始まり、9:35分にスタート。寝姿山を左手に見ながらハリスの小径を通過して浄化センター横を通り過ぎた先の上り坂でやっと身体が温かくなりました。県道に出てしばらく爪木崎方向に歩き、須崎港・恵比

寿島への道へ右折すると、また緩やかな上り坂。住宅地の上り坂は周囲の景色もあまり変化なく結構疲れます。でもその後に見晴須崎台が待っていると思い歩き続けます。見晴須崎台で一口給水して恵比寿島・須崎港を目指します。急な下り坂を膝に負担をかけないように注意しながら小走りに下ると恵比寿島です。この日は工事中および強風のため恵比寿島周回は省略して進むと、いつもより手前の広場にどんど焼きの大きなやぐらが組み立てられていました。最近都会では目にする機会がなくなりましたが、こういった



季節の行事を残しているのは大切だなと、うれしく思いました。チェックポイントより手前の須崎漁民会館に10:40到着。以前はここが給水ポイントだったこともあり、この先の須崎遊歩道に備えて、自主的に小休止して

コーヒーとパンでエネルギー補充しました。須崎遊歩道入口のチェックポイントでスタンプとみかんをもらおうと、いよいよ本日のメインイベント、アップダウンのあるきつい須崎遊歩道です。たしかに上り下りの階段が連続した道ですが、「あー、きつくなってきた。一休みしたいな。」と、思い始めるころには一続きの階段は終わり、ちょっとなだらかな道になり、また階段が始まるという具合で小休止することなく歩き続けられました。歩く人に負担をかけないように考えて階段を設置してあるなど感心しながら林間のアップダウンを進むと、パッと視界が開け、細間の段が見えてきました。右手に海を見ながら進むと遊歩道も終わり、



爪木崎花園の庭を歩いて爪木崎入口へ。水仙群落を眺めながら爪木崎灯台に到着。ここも風は強かったのですが、そのせいか空気も澄んで遠くの伊豆七島の島々も見えました。水仙とアロエの花を見ながら(風が強かったせいか水仙の香りがあまりしなかったのが残念)浜の方へ戻り11:45に10kmのゴールポイントに到着。ここでは笹本会長のお出迎えがありました。少し雑談をして、さあ後半戦の出発!と、いきたいところですが、一つやることがあります。それは駐車場近くの茶屋でヨモギ団子を食べること。これが爪木崎での私の恒例行事になっています。適度に腹ごしらえして12:10に後半戦スタート。帰りはてくてくとコースを戻るだけです。爪木崎からはしばらく県道を歩きます。例年に比べ車も観光バスも少なく、コロナ禍以降観光客が減ってきているのか心配にもなりましたが、ウォーカーにとっては歩きやすかったです。須崎御用邸を過

ぎて右に小道を入り、砂利道をザクザクと音をたてて下っていくと外浦海岸に着きます。ここでも私の恒例行事があります。それは波打ち際の砂浜を歩くこと。外浦や弓ヶ浜の波に洗われて固くしまった白浜を歩くと、厚く積もった落ち葉の上を歩くのとはまた違った心地よい柔らかさを足の裏感じられるのです。これが足の裏の疲れをほぐしてくれるのです。しばしの癒しタイムを過ごし、あとは国道に出てゴールを目指すだけです。ゴールに近づくにつれて向かい風が強くなり、歩くのに一苦労ありましたが13:40にゴールしました。夜の新年会では、笹本会長からアンカーの人手不足、アンカーの責任の重要性、ゼッケンを付けて歩くことの意味、コース指示として使われている朝日新聞の旗の意味など貴重な話を伺いました。

2日目。前日の会長のお話、伊豆歩倶楽部会員になったからには何かお手伝いをしなければという気持ちもあり、この日は20kmアンカーの山本さん、山田さんに付いて歩き、

アンカーの仕事を体験することにしました。以下に体験したことをいくつか書きます(コースの様子は省略します)。・途中で10kmコースの参加者に追いついたときは、しばらく様子を見て、20kmアンカーであること、10kmアンカーはまだ後方にいることを告げて追い越しました。

・スタートに間に合わなかった参加者がいて、大会本部の人が車でアンカーのところまで送り届けるという連絡があったときは、アンカーの現在地を本部と連絡していました。参加者が到着したらコース図で現在地を説明して送り出し、しばらくは歩く様子を後方から観察しました。

・チェックポイントで折り返し地点のアロエの里では、そこからもっと先の遊歩道を歩いて行ってしまった参加者がいるという情報が入り、戻ってくるのをしばらく待っていました。20分ほどしても戻ってこないで、チェックポイントのスタッフの人にその旨を伝え出発しようとしたときに参加者が戻って事なきを得ました。

・参加者として歩くときは、風景や街並みの様子など自由に好きなものを見ながら歩いています。アンカーは絶えず周囲にゼッケンをつけた人歩いていないかに目を配って歩かなければなりません。

・トイレでは参加者が利用していないか、声をかけて確認します。

・街中、ペリーロードなど寄り道したくなる店があるところで、店に入ってしまった参加者を見つけることはほぼ不可能であること。ということで、二日目は、いつもと違う視点で歩いてみて、新たなことをたくさん得ることができ、とても有意義な一日でした。

下田水仙ウォークに毎年参加しているのは、水仙やアロエの花はもちろんのこと、白浜神社での晴れ着姿の新成人女性や須崎のどんど焼きのやぐらなど新年の風情が感じられること。ペリーロードや数々のお寺などの歴史的な施設が残っていること。そして街中に昔の円筒型の郵便ポストが現役で活躍していることなど、ゆったりとした時の流れを感じられる街だからです。これからも河津桜、松崎の桜の時期にも下田を訪れようと思っています。



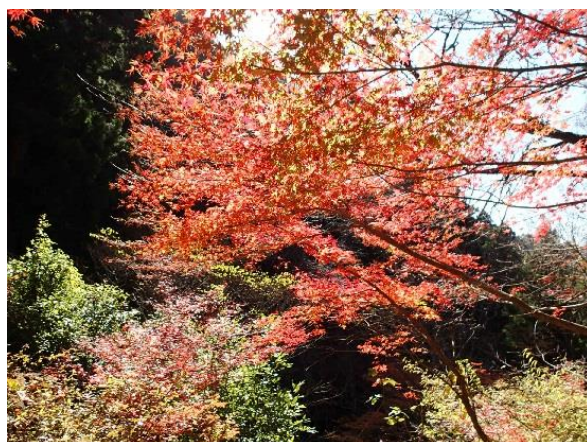
◆◆◆例会報告◆◆◆

第254回 伊豆歩俱樂部 12月例会

忘年ウォーキング

紅葉の天城・伊豆の踊子ウォーク

- ・開催月日 令和5年12月10日(日)
- ・集合時間 9時30分
- ・集合場所 天城・水生地下駐車場
- ・天候 晴れ
- ・参加者 15名(内一般参加者3名)
- ・距離 10Km
- ・出発式 9時30分 ・スタート9時45分
開会挨拶 笹本 祀長会長
コース説明 笹本 祀長
ストレッチ体操 山本 清
檄 清水 悦政
- ・コースリーダー トップ 山本 清
ミドル 渡邊 信子
アンカー 飯作 勝治
- ・閉会挨拶 山本 清副会長



雲ひとつない青空に紅葉が映え、今年最後は最高のウォーキング日和となりました。

9時45分スタートする、赤や黄色の紅葉に映えた踊子歩道を進む、「伊豆の踊子文学碑」からつづら折りの道を進み旧天城隧道に10時30分着く。工事中で通行止めの為、10時45分出発し、新天城トンネルを經由して二階滝駐車場に11時30分着く。旧天城街道を進み国道を横断する。杉林とわさび沢、宗太郎園地を進み休憩舎に13時00分着く。昼食後13時35分出発する。猿田淵から河津七滝を進み、14時25分河津七滝駐車場に無事ゴールする。12月としては、静かな暖かい紅葉も残っていた例会でした。

忘年会は、1年間の反省会をささやかに開催いたしました。

第255回 伊豆歩俱樂部 1月例会

伊豆早春フラワーウォーキング 第26回 下田水仙ツーデーマーチ

- ・開催年月日 令和6年1月6日(土)・7日(日)
- ・開催会場 道の駅「開国下田みなと」
- ・出発式 1日目下田水仙コース 20・10km 9時45分
2日目開国コース 20・10・6km 9時00分
- ・スタート 1日目 9時45分 2日目 9時20分
- ・天候 1日目 晴れ 2日目 晴れ
- ・参加人員

(参加人員に伊豆歩倶楽部会員の参加者を含む)

開催日	コース名	距離 (km)	参加人員 (人)	伊豆歩会員 (人)	アンカー ゴール時間
1月6日 (土)	下田水仙コース	20	188	14	15:15
		10	186		13:00
1月7日 (日)	開国コース	20	162	14	15:15
		10	129		12:55
		6	57		11:35
合計			722 (517)	28 (30)	

*カッコ内数字は今年の参加人員です。

全国のウォーカーから「歩き始めは開国の町下田から」と親しまれている下田水仙ツーデーマーチはコロナ禍が5類以降になっての開催となりました。全国各地から北は青森県、南は宮崎県からの参加者で、昨年よりは205人多い大会となりました。1日目、2日目と青空の下、最高のウォーキング日和に恵まれました。会場では、能登半島地震の被災者への義援金が呼びかけられ、募金箱を抱えた担当者の前には列が出来ました。

1日目の水仙コースは、出発式は下田市長松木正一郎の挨拶、ちびっこ3名(伊豆歩倶楽部会員の孫)による檄で出発する。ハリスの小径、(恵比須島は強風の為通行止め)須崎遊歩道から紺碧の海と伊豆七島を望む。爪木崎灯台を廻り爪木崎浜は10kmコースのゴールです。水仙は5分咲きである。20kmコースは須崎御用邸から外浦海水浴場を廻りゴールです。

2日目の開国コースは、出発式は下田副市長の挨拶、東海北陸マーチングリーグの表彰(3名)、東京から初参加ご夫妻の檄で出発する。吉田松陰先生踏海の道伊豆東浦路を進み白浜大浜海岸から伊豆最古の宮白浜神社(10km折り返し)、20kmはアロエ祭り開催中のアロエの里を折り返して国道135号を南下する。日本初米国総領事館玉泉寺、吉田松陰先生踏海の地弁天島、から10kmはゴール。20kmは、みなと橋を渡り、了仙寺、ペリーロードを進み下田公園を廻りゴールする。ゴールでは、おもてなしの金目鯛の味噌汁、多種のみかんが大人気でした。新年会は、飛び入りで宮崎県の参加者(女性)加わり盛大に行われました。



事務局便り

◆伊豆歩倶楽部会員の継続手続きをお願いします。

手続きは、封筒に名前と会員番号を記載して会費 3,000 円、家族会員は 1,500 円を同封して、例会の受付に提出するか郵便振替でお願いします。

郵便振替用紙にて『通帳番号 10150 - 記号 57680821 伊豆歩倶楽部』宛てに納入して下さい。

伊豆歩俳壇

辰年も又増えたるや診察券
清水政悦

黄水仙女が元氣爪木崎
清水政悦



- ・ホームページアドレス <http://www.izuho-club.com>
- ・メールアドレス info@izuho-club.com
- ・投稿記事その他ご意見・ご感想をお寄せ下さい。「伊豆歩俳壇」にも一句・・・皆様のご参加をお待ちしています。
- ※会報への投稿は、毎月 20 日までにお願い致します。それ以降に届いた原稿は次号にてご案内させていただきます。
- ・伊豆歩倶楽部広報 飯作 勝治
〒410-3611 静岡県賀茂郡松崎町松崎85-2 TEL: 0558-42-0864
携 帯: 090-7675-8682
- ・ 発行者 〒415-0038 静岡県下田市大賀茂301
『伊豆歩倶楽部事務局』笹本 祀長
TEL & FAX 0558-22-5465

■令和6年度 伊豆歩倶楽部新規会員募集中！！

伊豆歩倶楽部に入会して伊豆の自然を満喫しながら楽しくウォーキング！ 仲間と歩くと心も軽く笑顔もあふれます。

多くの皆様の新規ご入会をお待ち申し上げます。お気軽にお問い合わせください。

日本ウォーキング協会の入会及び継続（正会員・維持会員）をご希望の方も伊豆歩倶楽部会員手続きに合わせて手続きを行いますので、その旨をお知らせください。退会予定の方も事務局または役員までご連絡をお願いします。詳しくは伊豆歩倶楽部事務局 笹本【0558-22-5465】までお気軽にお問い合わせください。

《令和6年4月1日～令和7年3月31日》

【会費】 継続会員 3,000円/年 家族会員 1,500円/年
新規会員 4,000円（入会金 1,000円 年会費 3,000円/年）
日本ウォーキング協会 正会員 10,000円/年 維持会員 2,000円/年

【納入方法】 郵便振替用紙にて『記号10150通帳番号57680821 伊豆歩倶楽部』宛に納入して下さい。
※例会等へ現金をご持参の方は、封筒にお名前・入金額をご記入の上、伊豆歩倶楽部の受付へお渡し下さい。

